

経営比較分析表（平成30年度決算）

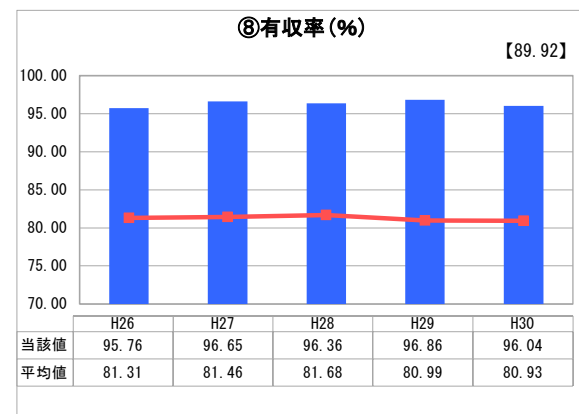
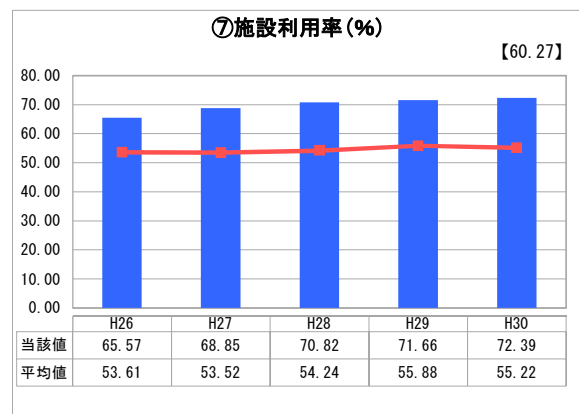
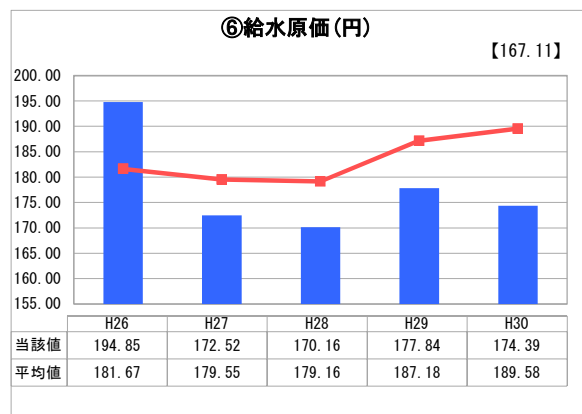
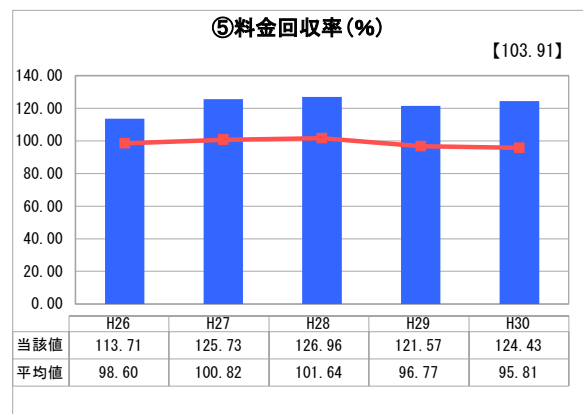
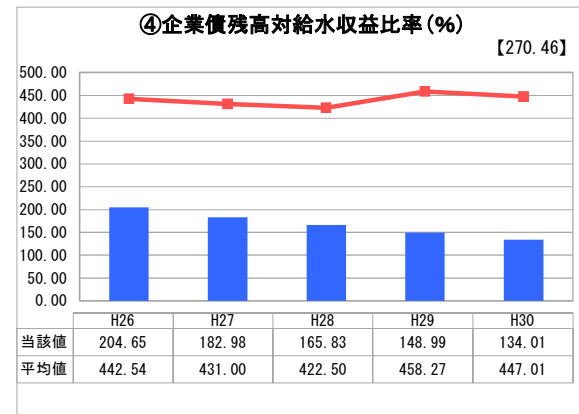
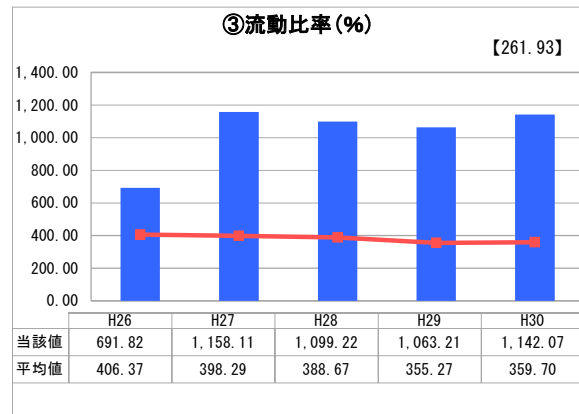
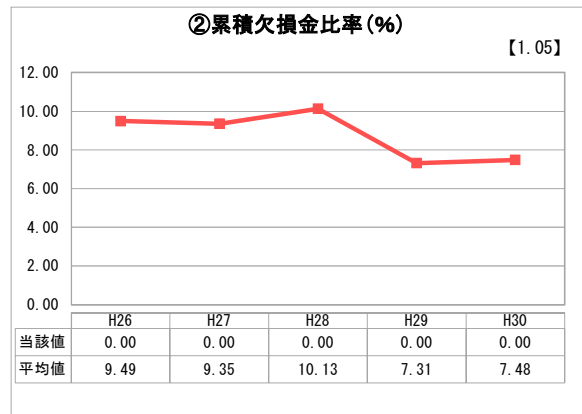
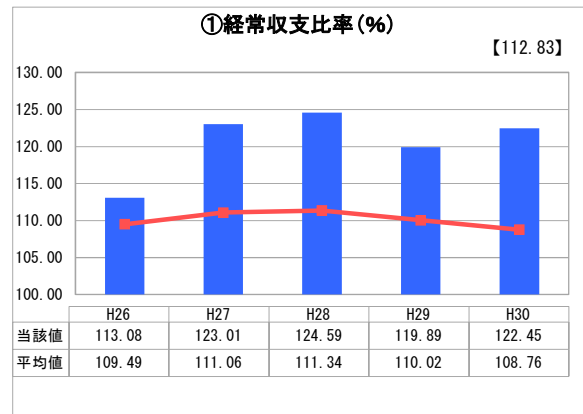
福岡県 広川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.66	72.31	4,370	

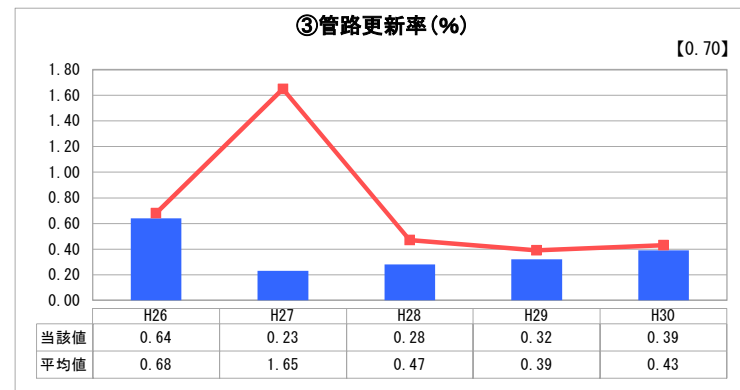
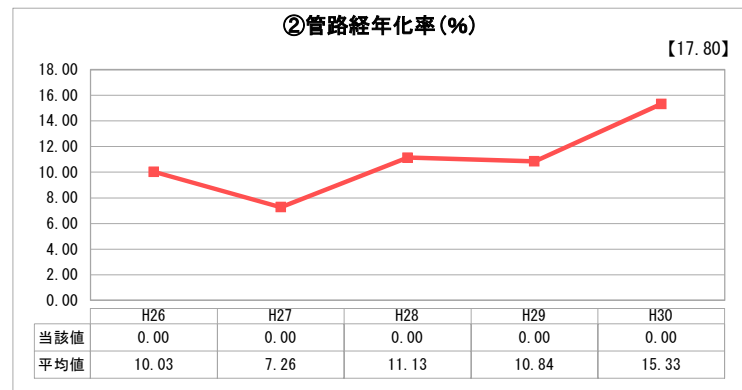
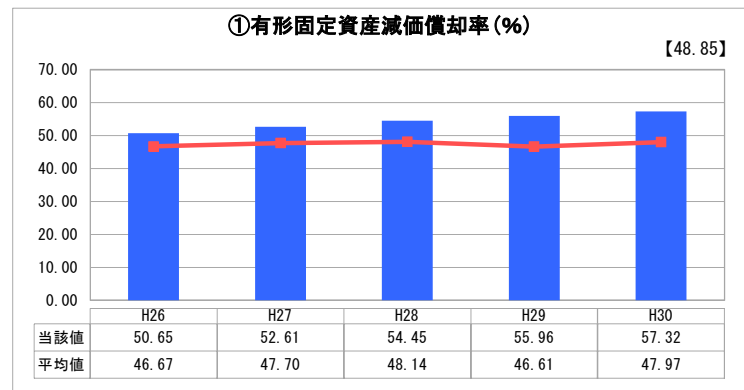
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,670	37.94	518.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,208	18.36	773.86

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

近年、各指標に大きな変動はありません。指標の数値につきましては、類似団体平均値と比較しても経常的な経営の健全性・効率性は保たれていると認識しています。分譲地における住宅や共同住宅の新築、地下水からの切り替えなどに伴い、給水人口は増加傾向にあり、あわせて料金収入も増加しております。今後も全体普及率の向上のため、地下水利用世帯の加入および利用を促進します。

2. 老朽化の状況について

平成4年度に事業開始し、平成11年度までの8年、及び平成22年度の一部区域拡大で施設の整備を完了しております。そのため、更新の時期につきましては、まだ先になります。指標につきましては、更新の時期でないため大きな問題はないと考えておりますが、将来的に施設および管路の更新に向けて、老朽化の状況を随時分析し、更新計画の検討をすすめる必要があります。また安定した経営にむけて、事業費の平準化を図ります。

全体総括

現在は安定している経営状況と考えています。ただし、将来的には人口減による料金収入の減少、施設および管路の老朽化など、多くの課題があります。安定した経営に向けて、財政計画、維持管理・更新計画を検討し、実行する必要があります。